

## トムス フロントバンパー

LS460/600h (USF40/UVF45) 用

このたびは、トムスフロントバンパー（以下フロントバンパー）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取付けを以下に記します。正しい取付けをお願いいたします。本取付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。

**【適応車種】** 本製品は以下の車種に対応しています。（H20年4月現在）

52110-TUF45・・・クリアランスソナー非装着車用

52110-TUF46・・・クリアランスソナー装着車用

レクサス LS460 (USF40) 2006 (H18) 年9月以降

LS600h (UVF45) 2007 (H19) 年4月以降

純正オプションのディスチャージフォグランプ&デイトタイムランニングランプ、フェンダーランプとの同時装着はできません。

**【取付け上のご注意】** 以下のご注意を必ず守るようお願いいたします。

1. フロントバンパー脱落防止のため、取付けボルト等はしっかり締めてください。また始業点検時にフロントバンパーのゆるみがないかチェックしてください。

**フロントバンパーが脱落した場合は重大事故につながる恐れがあります。**

2. 取付け箇所事故、改造等がある場合、本商品がとりつかない場合や干渉する場合があります。
3. 本パーツを装着した場合、路面とのクリアランスが狭くなり、縁石などの段差、歩道や踏切などの横断時、スロープの上がり下がり時に路面と干渉しやすくなります。
4. 本パーツが最低地上高となる場合は、地上高が9 cmを下回らないように注意してください。
5. 本製品は車両登録後の取付けを前提としています。登録前に取付けをする場合は持ち込み登録となります。
6. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
7. **塗装前に仮装着をおこない、各部のあわせを確認してください。塗装後のクレームは応じません。**
8. 塗装に際しては以下の点にご注意ください。
  - ⇒ 塗装ムラ・ピンホールの発生を防止するため、塗装前に表面のサンディング（ゲルコート的光沢が消えるまで）をおこない、サフェーサーを厚塗り処理してください。
  - ⇒ 塗装乾燥時の加熱温度は40度以下でおこなってください。**40度以上の加熱は製品変形の恐れがあります。**
  - ⇒ 塗装および下地の処理によっては、飛石等に対し純正パーツ等より塗装がはがれやすい場合があります。

**【構成部品】** 本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい。

フロントバンパー	× 1	カラー (5 t)	× 8
2.5mmタイラップ	× 1	カラー (12 t)	× 16
M5ボルト (フォグランプ用)	× 4	M6×50ボルト	× 8
フォグランプASSY	× 2	M6フランジナット	× 2
M6×15ボルト	× 4	M6ワッシャー	× 2
M6クリップナット	× 8	トムスエンブレム	× 1

**【準備品】** 作業前に以下のものを準備してください。

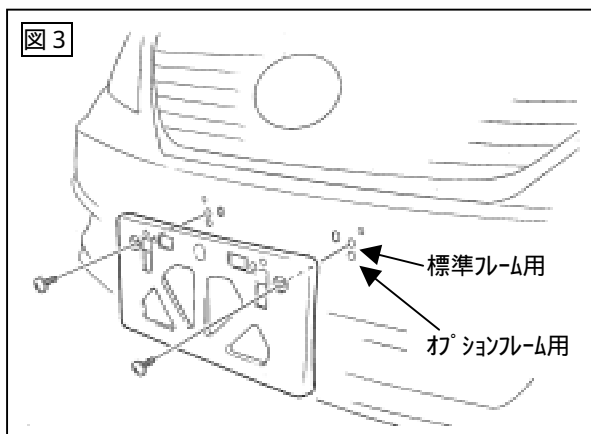
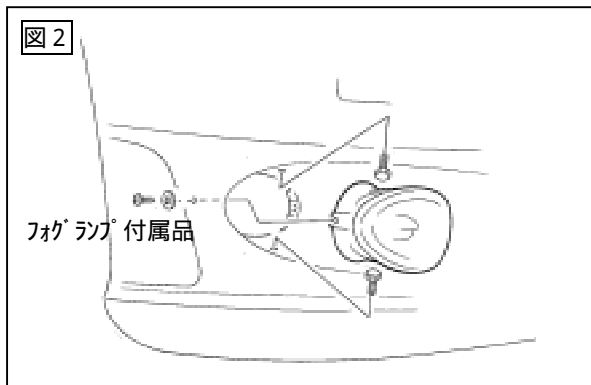
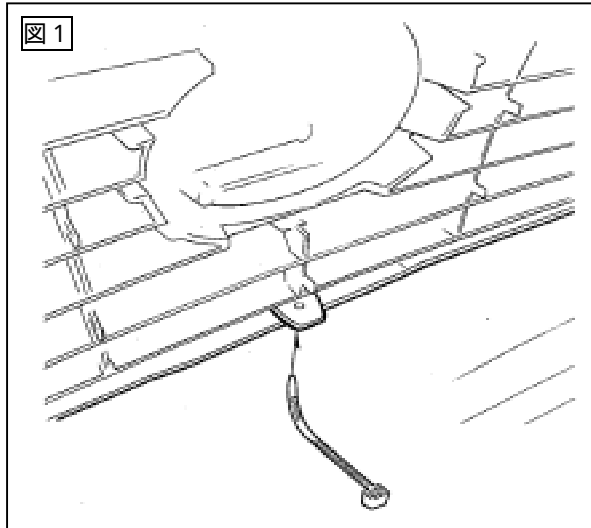
クリアランスソナー装着車用 (52110-TUF46) は、以下の純正部品をご用意ください。

ウルトラソニックセンサリテーナ	1 (89348-50020)	× 4
ウルトラソニックセンサリテーナ	2 (89348-50030)	× 2



## [1] フロントバンパー仮当て

- (1) 塗装前に下記取付け手順にてフロントバンパーを車両に仮当てし、各部に不具合がないか確認する。またフロントバンパー取付け穴の位置を確認しておく

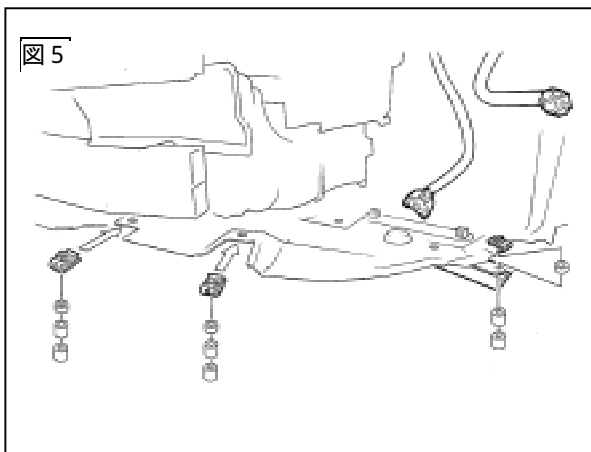
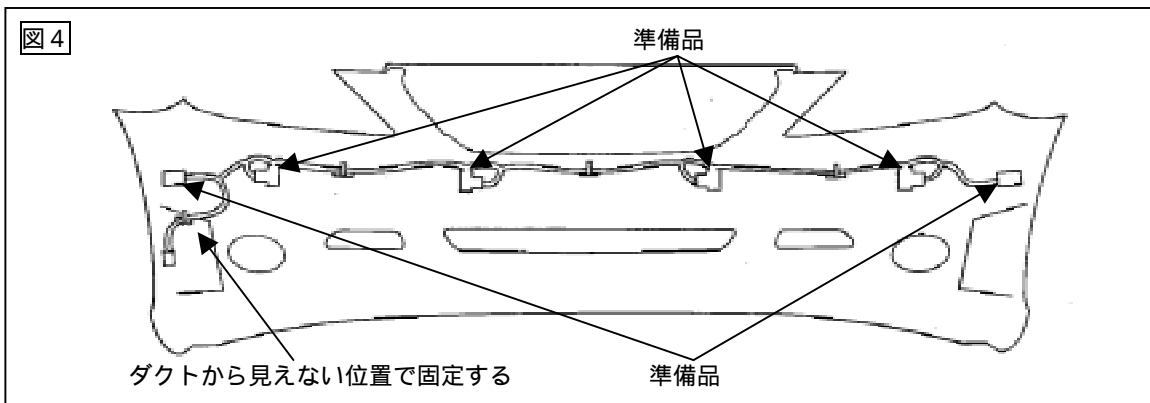


## [2] 純正バンパーはずし

- (1) 純正バンパーASSY、グリルASSY、バンパー側面裏側のフロントバンパサイドリテーナをはずす(グリルASSYは再使用する)
  - ⇒ フロントホイールオープニングエクステンションパッドは、はずさず再使用する
  - ⇒ 仮当て時はヘッドランプ下のフロントバンパーラインホースメントもはずすとバンパー脱着が容易となる(本装着時は必ずもどす)
- (2) 純正バンパーから純正グリルASSY、ナンバーフレーム、フロントバンパカバーLWRを取りはずす。また、クリアランスソナー付車は配線ははずす
  - ⇒ 各ソナーセンサーの位置を確認しておく。バンパーに貼付けのセンサリテーナは再使用しない(準備品を使用)

## [3] フロントバンパー取付け

- (1) フロントバンパーへ純正グロメットを再使用して純正グリルを仮組みし、グリル下面をフロントバンパーの穴に合わせて3.3の穴を1ヶ所あける(図1参照)
  - ⇒ バンパーとグリルの位置関係を確認してから穴をあける。穴あけは必ずバンパーからはずして作業する
- (2) フロントバンパーと純正グリルをタイラップで固定し、はずしたグロメットを再使用して組み付ける(図1参照)
- (3) ボルト(フォグランプ光軸調整用)をフォグランプが干渉しない位置まで回し、フォグランプ付属の固定ネジでフォグランプを取付ける(図2参照)
  - ⇒ 車両へ取付け(結線)後、ボルトで光軸を調整しながらフォグランプを固定する
- (4) ナンバーフレームをボルトで固定する(図3参照)フロントバンパカバーLWRを取付ける
  - ⇒ ナンバーフレームは標準部品とオプション部品で穴位置が異なる



(5) クリアランスソナー付車は、フロントバンパー裏側に準備品 センサリテーナを貼付け、取り回しに注意して固定金具で配線を固定する(図4参照)

⇒ センサー及びリテーナ取付けは整備解説書に従う。脂分の付着は、両面テープの接着力が低下するため、接着面の脱脂処理は十分に行う

⇒ 車両コネクター側への配線はダクトから見えない位置で固定する

(6) アンダーカバーのフロントバンパー組み付け部分に クリップナット 8 個を差し込む(図5参照)

(7) 「組み付け図」を参照してフロントバンパーを取付ける

⇒ フォグランプコネクター等を結線し、両側を軽く広げながら取付ける(割れないよう注意する)

⇒ 付属の カラーは予めテープ等で組み合わせておき、使用数量、位置に注意する(組み付け図・注1)

⇒ 仮当て時にはずしたフロントバンパーラインホースメントは必ず元にもどす

(8) 各部を指定金具で仮止めし、全体の位置を合わせながら本締めする。金具の種類(高さ)と取付け位置に注意する

⇒ 固定が確実でない場合、バンパーが脱落し重大事故になる場合があるので確実に固定されているか確認する

(9) ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、脱脂処理を行い、フロントバンパー中央部に エンプレムを貼付ける(組み付け図参照)

⇒ 脂分の付着は、両面テープの接着力が低下するため、接着面の脱脂処理は十分に行う

⇒ 両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度〔49Nm(5Kg.c m)〕で行う

【発売元】株式会社トムス  
東京都世田谷区等々力6-13-10  
TEL 03-3704-6191